五代の子

合言葉「かしこく　やさしく　たくましく　礼儀正しい五代の子」

五代小　学校だより
令和６年　５月２０日
宇都宮市立五代小学校
校長　林田　浩二

自分の「命」は、自分で守る

５月２日（木）に第１回避難訓練、５月８日（水）には交通安全教室、安全パトロールの方との顔合わせ会がありました。毎日、無事が当たり前のように過ごしていますが、自然災害はいつ起こるか分かりません。交通事故もちょっとしたことが原因で大きな事故になってしまいます。

たったひとつの大切な命を守るのは「自分自身」です。学校でも安全指導は継続的に行っていきますが、ご家庭でも大切な命を守るために、防災対策や交通安全について話す機会を作っていただけるとうれしいです。

＜避難訓練＞

第１回の避難訓練は、地震から火災が起こり、自分の教室から避難するという形式でした。学校生活の中で一番多く過ごしている教室からの避難を覚えることが基本だからです。東日本大震災では、栃木県も大きな被害を受けました。また、今年１月の能登半島地震は未だに多くの人が避難生活を送っています。

東日本大震災は、私たち大人にとっては新しい記憶ですが１４年前の出来事。今の小学生はまだ生まれていません。能登半島地震は、ニュースでは見ていても直接の被害を受けていない場合が多く、今の小学生にとってはまだまだ他人事かもしれません。いつ起こるか分からない地震や火災は、いつ起こっても大丈夫なように何度も訓練をして「命を守る行動」を身に付けておかなければいけません。



地震で机の下にもぐる



火災で校庭に避難する

地震は「いつ」「どこで」起きるか分かりません。家で地震が起きたときはどうするのか、家に帰れないときにはどこに避難するのか、ぜひご家庭で話し合ってください。「緊急カード」を作ってランドセルに入れておくのもよい方法ですよ。



＜交通安全教室＞

交通安全教室では栃木県警生活安心課の方から交通ルールや安全な歩行についてお話ししていただきました。地域の安全パトロールの方々も参加していただきました。ありがとうございます。

今回は、交通ルールや安全な歩行についてクイズや体験を通して分かりやすく説明してくださいました。

毎日の登下校、家から遊びに行くときの自転車など、外に出る機会はほぼ毎日あります。ということは、毎日命の危険と隣り合わせにあるということです。子供の交通事故の原因の１位は「とび出し」です。ちょっとした不注意、たった一度の不注意が大きな事故につながり命を落としてしまうかもしれません。だからこそ自分自身で「命を守る行動」をし続けなければいけません。



地域の方々も参加してくださいました



とび出しの危険性を体験

学年が上がるにつれて一人で外出する機会が増えていきます。「自分の命を自分で守る」ことができるようお子さんが外出するときには「気をつけて」の声掛けを続けていきましょう。

